

太田警察署協議会議事録

(令和5年度第2回定例会議)

開催日時	令和5年9月26日(火) 午後3時30分から午後5時までの間		
開催場所	太田警察署 6階大会議室		
出席者	委員 (定数15人)	石澤会長 長谷川(雄)委員 藤田委員 齊藤委員 高木委員 土屋委員 萩原委員 橋本委員 森田委員 矢島委員 池田委員 石川委員 高草木委員	計13人
	警察	柿崎署長 五十嵐副署長 吉田警務官兼地域官 中澤会計官 津久井刑事生安官 栗原交通官 中野警務課長 成瀬生活安全課長 田村地域課長 深井刑事第一課長 神宮刑事第二課長 野澤交通課長 吉橋警備課長 警務係長	計14人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 署長挨拶</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 概況説明(説明者 署長)</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(2) 刑法犯罪種別認知状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(3) 人身安全関連事案相談・検挙状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(4) 特殊詐欺の認知状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(5) 交通事故発生状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(6) 110番通報受理状況(R5. 1~8月)について</p> <p>(7) 警察安全相談受理状況(R5. 1~8月)について</p> <p>4 協議</p> <p>意見・要望等</p> <p>○ 大麻に関する犯罪の件数や把握している事案、また大麻に関する注意点について教えていただきたい。〔質問〕</p> <p>● 令和4年中における群馬県内の大麻事犯による検挙人員は103人で、全薬物事犯の51.5%と過去最多を記録している。検挙人員のうち10代及び20代の若年層の割合は76.7%を占め、本年上半期の検挙人員は49人で、前年同期比+4人と、昨年を上回っている。この49人のうち、10代及び20代は36人で、若年層の割合は73.5%を占め、若年層による大麻の乱用拡大が深刻化している現状にある。</p> <p>大麻に関する乱用防止の留意点について、若年層に関しては、個人的な好奇心や友人等からの誘いが乱用のきっかけとなっている事例が多く、大麻は違法薬物であること、薬物によって引き起こす幻覚作用による重大事件や事故を引き起こすことの周知を図るとともに、対象者自身の大麻乱用・依存に関する相談窓口の教示、友人等の大麻乱用に接した際の通報窓口や相談窓口等、その他対処方法についても適切に教示し、乱用防止に努めていく。(回答)</p> <p>○ 人口減少に伴い、人員の確保と効率化について、パトロールにドローンを使用する、職員にタブレットを所持させ、書類作成の省略可を図る、受付はAIロボットで対応する、外国</p>			

人雇用、書類の簡略化などについて教えていただきたい。〔質問〕

- 人材確保について、警察官の人数は、群馬県条例により3,442人となっている。採用にあつては、警察活動を支えるのは「人」であり、真に警察官として適格性を有する優秀な人材を採用すべく、採用募集活動を推進している。人材確保の具体的活動として、
 - ・ 受験者層に対して、警察官等の職業に興味をもってもらい、その魅力を伝えるためリクルーター制度の実施
 - ・ 就職情報サイト等の広報媒体の活用や、合同企業説明会や大学、専門学校、高校での説明会への参加

など、多角的に募集活動を実施している。

また、平成25年度の採用試験から受験資格年齢を33歳まで引き上げているほか、令和元年度の採用試験から男性警察官の身長と体重の基準及び女性警察官の身長の基準を撤廃している。

業務の効率化については、県民の利便性の一層の向上、警察業務の更なる合理化・高度化を図るため、各種業務のデジタル化を推進しており、例えば、電子申請受付システムを運用しているほか電子決裁、押印廃止などを行っている。

今後も、関係機関などと必要な調整を図った上で、合理化に取り組んでいくこととしている。

県警察では、ドローンを保有しているが、その用途は災害時の救助活動を目的としていてドローンの性能や社会情勢が変われば運用も変わる可能性もあるが、個人情報保護の観点等から、現在のところドローンをパトロールに使用することは考えられていない。

パトカーや職員へのタブレット端末の配備については、すべてのパトカーではないが、令和4年2月から、リアルタイムで映像送信が可能な車載カメラが整備されていて、職員についても、交番・駐在所の勤務員やパトカーの勤務員に、カメラで撮影し、画像送信することができるスマートフォン型のデータ端末を勤務時に携帯しており、同端末については、平成31年4月から全国警察に整備されている。また、タブレット端末使用については、今後は道路交通法の改正により令和6年度末に予定しているマイナンバーカードと自動車運転免許証の一体化に伴い、タブレット端末使用のデジタル化となる予定である。

受付をAIロボットに対応してはということだが、不審者の侵入防止等の観点から、職員による対応を行っており、AIロボットの導入予定はない。

外国籍を有する職員の採用について、群馬県警察官採用試験は、群馬県「職員の採用試験に関する規則（平成元年5月17日人事委員会規則第11号）」に基づいて行われており、同規則第5条第2項により、日本国籍を有しない者は、警察官になることができないと定められている。（回答）

- 自転車の運転と認識について、自転車優先レーンがあると自転車が車道を走るという認識がしやすいのではないかと、自転車レーンの色付けやポスターを活用した周知などはいかがか。〔質問〕
- 自転車利用者に対する交通ルールを遵守させるため、中・高校生を中心に自転車の交通安全教室や指導、ポスター・チラシの作成、四季の交通安全運動における重点項目にも掲げるなど啓発活動に努め、街頭指導や指導取締り等も行い、自転車事故の抑止に努めている。特に、自転車は車両で左側通行を遵守させるため、車道の左側に寄って走行するルールの定着を図る矢羽根型路面標示や自転車専用通行帯などの整備を行っており、今後も道路管理者と協議を行い、整備促進を図ることとしている。（回答）
- 外国人犯罪について、犯罪の特徴はどんなものか、犯罪に至る背景にはどのようなものがあるか教えていただきたい。〔質問〕

- 外国人居住の多い太田警察署管内を始めとする県内の東毛地域において、不良外国人グループによる逮捕監禁、強盗、窃盗事件が発生している。

犯行を敢行する不良外国人は、無車検車両に別のナンバープレートを装着した不正車両を使用するケースが多く大半が不法残留者である。（回答）
- 岩瀬川地内で、富士重工矢島工場の南西信号は、時差式信号にもかかわらず、黄色に変わっても信号を無視する危険な運転をする車を見かけるが、その取締りについてどのように考えているか。〔質問〕
- 交通量の多い信号交差点においては、渋滞解消を図るため、「時差式信号機」や「右矢印信号」を設置している交差点がある。このような交差点は、委員ご指摘のとおり、信号灯火の変わり目で交差点に進入してくる車両が多く見受けられることから、交通事故抑止を図るため、街頭監視や交通取締りを強化する。（回答）
- 障害者の中には、警察介入のあった方も多く、再犯傾向にある人もいる。刑務所から出所している人が地域に戻って生活をしているが、地域警察署の考えを聞かせてもらいたい。〔質問〕
- 出所者に対する警察の対応についてであるが、社会のシステム上、刑を終えた者は、罪を償った者として白紙状態とされ、警察においても基本的には、一般人同様に同じ認識となる。ただし、特定の性犯罪者については再犯防止対策として、任意ではあるが出所後、警察署幹部により、定期的に対象者と連絡を取り、近況を聞いたり、相談を受けたりしている。

対象者の人数や、居住地域については公表していない。

また、再犯を防ぐため、自立して更生させるための更生保護活動を促進しているが、再犯防止や矯正対策の所管官庁は法務省となり、警察では、対応する様々な事象において、違法性があれば捜査し、被疑者を逮捕するなどして、地域の安全確保に努めている。（回答）
- テレビを見て思うが、なぜ警察官は悪い人に対して丁寧な言葉を話すのか。人権や人間の尊厳を大切にすることは言うまでもないが、その権利を主張できるのは善良な市民だけだと思うので、もっと毅然とした態度をとれないのか〔質問〕
- 市民対応であるが、警察では老若男女、国籍を問わず、分け隔てのない対応に努めている。

丁寧な言葉遣いにより、対応する相手や周囲に悪い印象をもたれないほか、相手につけ込まれる機会を与えないことになる。

危険が迫っていたり、相手の行動を抑止しなければならない場合は、強い言葉を使うこともあるが、それによって逆効果となり、現場の状況を悪化させることもある。

署員に対しては、相手につけている隙を与えることなく、冷静に対処するため、毅然とした態度を保ちつつ、丁寧な言葉遣いに配慮するよう指導している。（回答）
- 県道2号線をジョイフル方向に進行し、新田小金井町の交差点右に曲がった工業団地内の道路は、視線誘導標が多数あるがとても見にくく、中央分離帯に乗り上げそうなので、どうにかならないか。〔要望〕
- 現地は自発光式のデリネーター設置の中央分離帯のある道路で、大型車両等の通行量が多く、車両通行帯が消えかかり、視認性の悪い状態を確認したので、路面上の道路標示の状態を道路管理者に通報し、改善措置を図るよう依頼する。（回答）
- 物騒な世の中であり、学校や幼稚園、住宅地などの巡回を強化していただきたい。〔要望〕
- 要望されている学校や幼稚園、住宅地においては、それぞれ犯罪の予防に効果的な時間帯を中心に、パトカーや制服警察官によるパトロールを実施し、警戒、見せる活動の強化を図っていく。（回答）
- 定例会の次回日程を決める際は、協議会当日の最後に決めてしまった方が、今後の予定も立てやすいと思うのでそのようにできないか。〔要望〕

● 要望に基づき、次回開催については、当日の最後に日程調整することとする。（回答）

5 備考

次回開催については、12月7日午後3時から開催することで、了承された。